

セルフモニタリング報告書(令和4年度)

2023 年 4月 28日

施設名: 苫小牧市東開文化交流サロン

指定管理者名: Social Library Platform 東開町

所管課名: 総合福祉課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	施設が稼働開始して間もないため、実際の状況に応じて柔軟に変更し対応する必要性のある部分については、所管課と都度協議し計画を見直しながら管理運営している。	A・B・ ◎ ・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	施設来館者は概ね目標達成できたが、貸室や図書などの機能の利用率については大幅な向上の余地を残しており、今後も利用促進に努める。	A・ ◎ ・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。	/	/
自主事業は計画どおり行われたか。	計画に基づき実施している。	◎ ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	町内会、相談支援機関、一般地域住民等との協働による取り組みを複数行うことが出来た。（詳細後述）	◎ ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケート結果からは高い満足度が把握できるが、まだ満足度を高める余地があるため、より満足度が高くなるよう努めている。	◎ ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	来館者から直接のご意見を受け取りやすくするよう、常に見守り支援員が気を配っている。また定期的なアンケート実施や意見箱設置を行い把握に努めている。	◎ ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	館内に意見箱を設置し、即時対応できるものは改善し、検討が必要なものなどについては関係者との協議検討を行っている。	◎ ・B・C・D・E

3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	消耗品等については可能な限り複数商品の価格比較をした上で購入している。また、光水熱費の節約に努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	可能な限り市内の複数業者による見積もり比較によって適切な経費となるよう努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	貸館の利用予約状況のweb公開の準備や利用手続きのご案内などの準備を進めており、利便性を高めることに努めている。	A・Ⓑ・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正に配置している。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	OJT や各種研修（障害理解、救命救急、個人情報保護法、危機管理等）を実施し、職員全員の知識向上等に積極的に取り組んだ。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	適正な使用許可や平等な利用を実施し、条例、規則及び市が定める基準に従い適切に処理した。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	入社時に個人情報保護研修を実施している。また苫小牧市個人保護条例を遵守し適正に行った。	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	複数体制で管理し、適正かつ適正な処理を行った。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検及び保守については委託契約業者と連絡調整を行い適正に実施した。	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に管理を行った。また、備品等に不備や不安があった時には所管課や業者とやり取りを行い状況改善に努めた。	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	不測の事態が起きた時の対処、対応については防犯を含む研修等を行っている。また来館者等からご指摘いただいた箇所については検討を行い必要に応じて改善を行うことが出来た。 絵本ホールでの接触事故を経て、ルー	A・Ⓑ・C・D・E

	ル提示や混雑時の館内見守り強化、意識的な声掛けなどに努めた。	
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	事業計画を基に必要な職員研修を実施し、コンプライアンスを遵守した管理運営を行うことが出来た。	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては多くの職員が苫小牧在住。資材調達や再委託についても地元業者を中心に行っている。	Ⓐ・B・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

当サロンは 2022 年 12 月 1 日にオープンとなりましたため、オープン後からの 4 ヶ月間の評価となります。図書機能と福祉機能を兼ね備えた苫小牧市内では初となる共生型地域福祉拠点として、「交流をデザインする」「人が文化を創る」「多様性が寛容を生む」をコンセプトに運営を開始し、日々たくさんの地域住民の方々にご愛顧頂きながら運営しております。

【全般評価】

概ね事業計画に沿って管理運営を行うことが出来ました。オープンしてまだ間もないことから、設備、備品関係の管理にあたっては、都度所管課と協議を重ね、適宜当初予定を修正して運営を進めております。

自主事業としては、当サロン内で、障害者総合支援法に基づく就労継続支援（A 型・B 型）事業を運営しております。病気や障害など、さまざまな生きづらさを抱えた方が働く姿が地域の中で可視化されていくことで、多様性の理解と寛容を育むことを目指しています。令和 4 年度末時点で、A 型 5 名、B 型 2 名の方に対して、サロンにて就労支援を提供することが出来ました。

【特筆すべき成果】

○見守り支援員による声掛けや地域活動コーディネート

来館する地域住民への声掛けから始まって丁寧に関係性構築を進め、一緒に来館者をもてなすイベントを企画実施するなど、地域住民が主体となった活動コーディネートを行っています。また、日々来館している子どもたちと一緒に近隣のゴミ拾いをする、学びの機会として「あいサポキッズ研修」を企画実施する等、子どもたちと一緒に地域課題に取り組んでいくためのアプローチを進めています。社会的孤立を深めている人に対して、傾聴や必要な情報提供も実施しております。

○コーディネーター等による地域資源との多機関協働

東地域包括支援センターとの協働による、高齢・障害など多分野の専門職や地域住民からなる協議の場である「手つなぎネット」の開催支援や「あいサポーター研修」の開催協力等、関係機関と連携し地域支援のアプローチを行うことが出来ました。また、東開町内会と協働し実施した、子どもたちを対象とした「昔遊び体験会」など、町内会の方々の活躍の場としても活用頂くことが出来ました。

【課題】

●図書、カフェ、貸館等のサロン内各機能の利用率の向上

概ね当初計画通りの来館者数となっておりますが、各機能の利用率としては、まだ向上の余地を大きく残しています。当サロンは特色ある蔵書を始め、市内外から人を惹きつける潜在的な魅力のある機能を数多く有しているため、そうした特色に関する情報発信や来館者へわかりやすく特色を伝える方法を検討・実行し、利用率の向上に努めてまいります。